Interview

実際に通報を受ける中で、Ｌｉｖｅ１１９を導入してから感じる効果を聞きました。

消防本部警防課通信指令センター
菅原（すがわら）　健太（けんた）主査

映像が、現場を知る手がかりに

Ｌｉｖｅ１１９は、現場の状況を映像で確認できるため、より正確な状況把握ができます。状況を映像で確認できることは、急いで現場へ向かう隊員にとって、どのような準備や対応が必要か判断する材料になります。

また、Ｌｉｖｅ１１９で指令員が消火器を使った、初期消火の方法を通報者に映像で伝え、通報者が大きな火災になることを防いだ事例もありました。指令員と通報者が現場の状況を共有し、対応できたことが、被害の軽減につながったと感じています。

一刻を争う現場では、通報者からの情報が大きな手掛かりになります。

Ｌｉｖｅ１１９などを活用しながら、これからも、通報内容を少しでも早く、確実に救急や消防活動につなげていきます。

正確に早く伝わること。
それが、救命に直結する。

Ｌｉｖｅ119映像通報システム

運用から１年を迎えるＬｉｖｅ１１９は、１１９番通報の際に、スマートフォンで現場の映像を消防指令センターへ送信できるものです。言葉だけでは伝えにくい現場の状況をより正確に映像で伝えることができます。また、通報した人への応急手当ての案内や、火災現場の初期消火の指示など素早い案内に役立てることができます。

市ウェブサイト
Ｌｉｖｅ119
運用開始

●利用の流れ

①スマートフォンで１１９番通報をする。
②消防から映像提供依頼を受ける。
③消防から届いたショートメッセージのＵＲＬをタップして、撮影を始める。
④消防からの案内に従って対応する。

●こんなときに役立つ

言葉で説明しづらい現場の状況が映像でリアルに伝わります。

心臓マッサージなどの応急手当てを案内された際や消火器の使い方、喉に物を詰まらせたときなど、映像を見ながら適切に対応することができます。

●お願い

現場の状況を確認するため、通信指令センターからＬｉｖｅ１１９による映像提供を依頼する場合があります。依頼を受けた場合は、救命や被害軽減のため、ぜひ、協力をお願いします。

また、通報者がスマートフォンで、Ｌｉｖｅ１１９の映像送信をすることについて、理解ください。

▲撮影時に映像提供中の画面が表示されます

あなたのスマホが命を救う

～もっと伝わるＬｉｖｅ119（ライブ）～

問消防本部警防課　☎（２２）８５１０

高齢化が進む市では、医療の必要性が高くなっています。また、急な体調不良やけがは、誰にでも起こり得るものです。

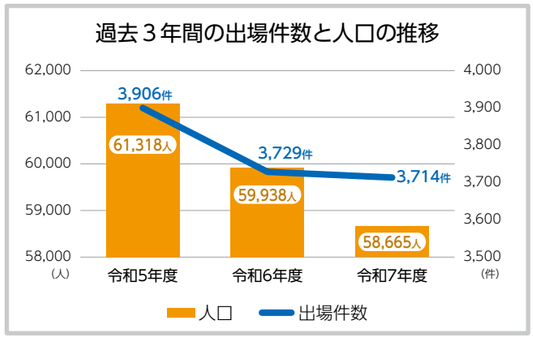
今月は、市内の１１９番通報の現状と、導入から１年が経過した「Ｌｉｖｅ１１９映像通報システム」を改めて紹介します。

１１９番通報の現状

１１９番通報がより重要になっている

市内では、１日平均で約１０件の１１９番通報があります。年間では、約3,７００件で、火災や救急など、命に係わる通報に日々対応しています。

市の人口は減少が続いていますが、通報に伴う救急車や消防車の出場件数は、横ばいが続き、ニーズが高いままです。



１１９番通報の多様化

一刻を争う救急や火災などの現場では、通報時に「何がどこで起きているのか」を正確に伝えることが重要です。一方で、緊迫した状況では、通報者が落ち着いて情報を説明することが難しい場合もあります。

そこで、必要な情報をより確実に伝えられるよう、１１９番通報の手段も多様化しています。

▲NET119でウェブ通報

▲Live119で映像送信

●１１９番通報の種類

□ **Ｌｉｖｅ１１９**
令和７年度に導入した通報しながら映像を送信するシステムです。スマートフォンを使い、誰でも必要な情報を映像で伝えることができ、素早く適切な対応につながります。

□ **電話**
一般的な通報手段

□ **ＮＥＴ（ネット）１１９**
聴覚や発話に不安のある人がＷｅｂアプリケーションで通報します。利用には事前登録が必要です。

□ **ＦＡＸ（ファクス）１１９**
聴覚や発話に不安のある人がファクスで通報します。利用には事前登録が必要です。